

身近にある食材で手軽に食育を！「あおり食育推進大会2018」の開催

- 青森県では、県民の食育実践の向上を図るため、食育は身近にある食材で手軽に始められること」をわかりやすく紹介する取組を進めており、平成29年度の取組内容を県民や食育指導者等とともに振り返り、食育実践の更なる取組拡大に資することを目的に「あおり食育推進大会2018」を開催した。



【取組の内容】

あおり食育推進大会2018

開催日:平成30年2月11日(日)

場 所:県民福祉プラザ

県民ホールほか

参加者:一般県民、食育関係者等 200名



○ 食育啓発事例報告会

県が公募した地域食育プロジェクトの実施団体から活動報告があった。弘前水産市場活性化協議会からは「旬の魚のさばきかたや美味しい食べ方を学ぶ料理教室」の事例発表があり、参加者は地域食材の魅力を伝える手法を学んだ。

○ 食育ワークショップ

味噌玉、塩麴、ドレッシングを作る体験や、4種類のだしの味比べを実施した。参加者は手軽に作れる調味料やだしの違いを学びながら和食や手作りの魅力に親しんだ。

○ 食育シンポジウム

弘前大学の学生たちが1年間奮闘した「若者たちの自炊塾」を受講生と共に振り返るパネルディスカッションが行われ、料理を作る楽しさ、食の伝統を伝えることの大切さを共有した。

【取組の成果】

- 関係団体や食育関係者との情報共有が図られた。
- 「だし」に代表される日本の伝統的な食事に対する理解を深めるとともに、県が大学生を対象に実施した自炊支援の取組を広く周知し、県民や食育関係者の食育実践を促した。



食育ワークショップ



食育啓発事例報告



パネルディスカッション